

数値目標の設定

現行の福祉施設 が新しいサービス体系への移行を完了する平成 23 年度を目標年度として、施設入所者の地域生活への移行、受入れ条件が整えば退院できる入院中の精神障害者（以下、「退院可能精神障害者」という。）の地域生活への移行、福祉施設利用者の一般就労移行等の 3 項目について、数値目標を設定します。

なお、この章における現在値の設定は国の基本方針により墨田区障害福祉計画（前期）と同じ平成 17 年 10 月を基本とします。

1. 施設入所者の地域生活への移行

障害者施設入所者 のうち、自立訓練等を利用し、平成 23 年度末における地域生活に移行する人の数値目標を設定します。

平成 17 年 10 月時点で、墨田区では 203 人が入所施設サービス を利用しています。平成 23 年度末には現在の施設入所者の 1 割以上が地域生活に移行するという国の基本指針に合わせて、合計 21 人の地域生活移行者数を目標値として設定します。

一方、21 人の地域生活移行者の代わりに、入所施設待機者や障害児施設における過年齢者など真に入所施設サービスが必要な障害者の入所を促進していきます。

項目	数値	考え方
目標値（地域生活移行者数）	21 人	現入所者数の 1 割が地域生活へ移行する。
現入所者数	203 人	平成 17 年 10 月の利用者数。
平成 19 年度入所者数（実績数）	206 人	平成 20 年 3 月の利用者数。
平成 23 年度入所者数（目標値）	203 人	

脚注 ~ については、53 ページの「資料 2 用語(キーワード)の解説」で説明を行っています。

2. 入院中の精神障害者の地域生活への移行

退院可能精神障害者のうち、平成 23 年度末における地域生活に移行する人の数値目標を設定します。

平成 17 年 10 月時点で、墨田区では退院可能精神障害者は 92 人（東京都の指針に基づく暫定的対象者）います。東京都の基本指針では、地域生活に移行する人の目標は暫定的対象者の 5 割以上となっていますが、平成 16 年度実施の「東京都精神保健福祉ニーズ調査結果」によると、対象者の 23%が高齢者施設への入所を希望していることを踏まえ、墨田区では 35 人を退院可能精神障害者数の減少目標値として設定します。

今後、精神障害者退院促進・地域定着支援事業などを実施することで精神障害者の地域生活への移行を進めていきます。

項目	数値	考え方
現在	92 人	平成 17 年 10 月 1 日現在の退院可能精神障害者数
目標値（減少値）	35 人	92 人 × 1/2 × 77%（暫定的対象者 - 高齢者施設入所希望者）

3. 福祉施設利用者の一般就労移行等

（1）福祉施設利用者の一般就労移行

平成 15 年度から平成 17 年度までの 3 年間の墨田区における一般就労移行者数は合計で 5 人（平均 1.7 人）でした。このことから、前期計画では平成 23 年度末での年間一般就労移行者の数値目標は現在値の 4 倍とする国の基本指針（都の指針は現在値の 2 倍）に合わせて 1.7 人 × 4 7 人と設定しました。

なお、墨田区では平成 17 年度に就労支援センターを開設し、一般就労移行実績が伸びていることから、後期計画にあっては数値目標を 10 人と設定します。

項目	数値	考え方
【現在】 年間一般就労移行者数	1.7 人	平成 15～17 年度において福祉施設を退所し、一般就労した者の数：5 人 / 3 年 1.7 人（1 年当たり）
【目標値】 目標年度の年間一般就労移行者数	10 人	平成 23 年度において施設を退所し、一般就労する者の人数：1.7 人 × 4 7 人 実績等から 3 人の増を見込む：7 人 + 3 人 = 10 人

(2) 就労移行支援事業利用者数

平成 17 年 10 月時点で、墨田区では 302 人が通所授産施設や小規模作業所などで福祉就労型のサービスを利用しています。このうち、就労実現性の高い 50 歳未満の身体障害者、知的障害 3・4 度の方、精神障害 3 級・通院医療のみの方の合計人数 (148 人) に、今後の特別支援学校卒業生や退院可能精神障害者数等 (43 人) を勘案し、平成 23 年度末までの就労移行支援事業利用者数の数値目標は、38 人 (191×0.2 38) と設定しています。

なお、墨田区では精神障害者を中心に利用実績が伸びており、また平成 23 年度に旧日本所授産所跡地に就労移行支援事業所の開設を予定していることから、後期計画にあっては数値目標を 40 人と設定します。

項目	数値	考え方
【現在】 就労実現性の高い利用者数	191 人	50 歳未満の身体障害者・知的障害 3・4 度の方、精神障害 3 級・通院医療のみの利用者数
【目標値】 就労移行支援事業利用者数	40 人	就労実現性の高い利用者数 × 0.2 実績等から 2 人の増を見込む：38 人+2 人=40 人

(3) 就労継続支援 (A 型) 事業利用者数

平成 17 年 10 月現在、墨田区では 302 人が通所授産施設 や小規模作業所 などで福祉就労型のサービスを利用しています。また、特別支援学校卒業生などで就労継続支援事業のニーズを持つ人は増加すると考えられます。一方、墨田区には大企業による特例子会社が数社あることもあり、一般就労へとつながっていくことも考えられます。これらの特性を考慮し、通所授産施設や就労継続支援事業利用者の中から就労継続支援 (A 型) 事業についての目標値を定めま

項目	数値	考え方
就労継続支援事業利用者見込数	315 人	平成 23 年度見込み数
【目標値】 就労継続支援 A 型事業利用者数	10 人	就労継続支援事業利用者数全体から、墨田区 の特性を考慮して定める。